

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス大空		令和8年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		空間の配置や人数を分散させることで、スペースの確保を行う事を毎朝のミーティングで話し合っています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		利用児童の数や特性に応じた配置は職員の数が適正である。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		入ってはいけな場所にわかりやすく示している。	空間を工夫すべき構造化を作るために次年度は工夫して支援をしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		子どもたちの成長に伴い、空間が狭く感じてきている。空気の入れ替えや加湿・エアドッグ・消毒など、生活空間には適切な環境整備が出来ている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		クールダウン部屋を用意し、気持ちが落ち着かない時など活用できる環境を整えている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		毎日ミーティングを行い、昨日の出来事について振り返りを行いヒヤリハットについても共有することを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		集計経過を各家庭に渡しています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		月に1度の会議を開き、色々な意見を話せる環境を設定しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	10		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		毎週質の向上の時間を作り、自分でテーマを決めて学びたい事を調べられる体制が整っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		毎月（15日）保護者の方や関係機関へ毎月の活動を含めたプログラムやお便りを配布しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11		話しやすい・相談しやすい環境を作り、課題やニーズについて分析しながら計画を立てるようにしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		会議日を毎月設定し、共通した内容話し合い、同じ方向を向いて支援出来るようにしている。会議に参加できなかったスタッフには会議録を見てもらえるようしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		完成した支援計画をスタッフに確認してもらい、共有できるようにしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		リタリコ発達ナビを活用し、記録などを整備されている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」について項目が含まれており、目標設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		日々のプログラムは、担当スタッフを中心に今日の目標など話し合う事を行っている。パートさんには都度プログラム前に説明している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		地域で行われているイベントに参加したりしている。季節に合わせた活動の取り組んでいる。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		活動のプログラムにもよりますが、個別と集団に分かれた支援を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	3	打ち合わせできない時間もある（長期休暇）それ以外は毎日利用児童が来所する前に話し合う事を行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		毎日記録は行っています。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		記録はリタリコ発達ナビを活用している。朝のミーティング時に話し合う場面で検証・改善する事を行っています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		個別支援計画を策定するときには、モニタリングを行う事を行っています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11		活動の中に取り入れて支援の方を行っています。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	11		おやつ選び・トッピング選び・工作の飾りつけなど選択できる場面を作っている。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		関係機関との会議には管理者が参加し、デイでの状況などを報告しています。その都度スタッフにも情報を共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		障害福祉課や教育関係、相談支援事業所・児童相談所などの関係機関との連携を行い支援をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		送迎の時に引継ぎなどで情報を共有しています。また、送迎時にお話しできなかった事は、その都度電話で情報を共有することが出来ています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11		児童発達支援事業所からの引継ぎや、相談支援事業との情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11		前例がない。	次年度、卒業する児童が出てくるので、引継ぎ等をを行い情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11		今現在は交流する機会が来ていません。	次年度に向けて、他の事業所との交流を行っていくと検討しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11			参加できるようにしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		今日の出来事をノートに書いたり、送迎時にお話をするようにしています。また、電話やライン等で共通理解を行うこともしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2	家族支援プログラムを行っていませんが、個別懇談で家庭での困りごとや支援方法についてアドバイスは行っています。	ペアトレの資格が取られるように次年度は動いていき、研修が出来るような方向にしていきたいです。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		新規児童及び内容が変更になった場合は説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		保護者の方や利用児童にサービスを提供するまでに話を聞き、支援に取り組んでいける体制を作っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		説明を必ず行い、同意が得た場合サインをいただいています。説明が足りない場合や疑問に思った時には、再度支援内容を変更し説明しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		相談しやすい環境や関係性を築き、その都度助言ができるようなスタッフを配置しています。	スタッフのスキルアップできるように研修など行っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		交流する場面は設けていません。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		苦情解決を配置し、その都度苦情があった場合は迅速な対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		契約時に個人情報と肖像権について説明し同意を得ています。本人が分からないように顔にマークを付け色んな活動している様子を発信しています。	契約前の保護者の方が見て見学に繋がっているケースがあるので、今後も継続的に行っていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		個人情報を事務所から出さないように徹底しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	2	地域住民の方へチラシを作って見学に来てもらえることを以前行いましたが、反応はなかったです。	今年度は行っていなかったもので、次年度は地域住民を招待できる。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		マニュアルについて実際に行った物に対して通信で報告していますが、保護者の方には行った感覚が届いていない様子です。	実際に行った物に対してはアピールできるように工夫しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		定期的に必要な訓練は行っています。行った後は保護者の方へ書面で報告していますが、見ていない方が多く見られています。	今後も訓練を行った後は各家庭に方向をしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		面談時に確認しています。今後も行っていきます。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	10		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		安全計画に沿って、必要な研修や訓練は行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		ライングループをスタッフで作成し、再発防止に向けた方針を朝の打ち合わせで振り返りながら行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		支援に関わるスタッフは全員研修を受けています。	次年度は同じグループの事業所と連携を図り意見交換できる研修を行っていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		身体拘束が必要と思われる児童には保護者の方に説明をし、同意を得て書面にサインをしてもらっています。		